

## 4 月 1 日(金)より西武鉄道の全駅でタブレット端末を導入します！

列車の運行状況の把握や多言語でのご案内がさらにスムーズになります

西武鉄道株式会社（所在地：埼玉県所沢市、社長：若林 久）では、駅係員によるお客さまへのご案内を充実させることを目的として、4月1日（金）から西武鉄道の全駅においてタブレット端末を導入します。

当社では、2012年から池袋・本川越駅での試験的な導入を経て主要駅を中心に運用を開始しており、順次拡充してまいりました。今回、全駅に導入するとともに、西武鉄道の列車（多摩川線、山口線を除く）の運行状況を確認できる機能を新たに追加したことで、タイムリーな運行情報を正確に把握しご案内できるようになります。また外国語での対応も可能です。当社では今後もこうした情報技術を活用した更なるサービス品質の向上を図ってまいります。

詳細は以下のとおりです。



駅でののご案内イメージ

### 【タブレット端末の概要】

1. 導入台数  
合計118台
2. 導入箇所  
西武鉄道全駅（小竹向原駅を除く）
3. 新たに加わった機能  
列車の運行状況を表示する機能（多摩川線、山口線を除く）
4. タブレット端末導入による主な効果
  - (1) インターネットやアプリの活用によるご案内のサービス品質向上
  - (2) 翻訳アプリを活用した外国人のお客さまへのご案内（英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語など主要言語に対応）
  - (3) 列車の運行状況をリアルタイムで把握することで輸送障害時などにスムーズなご案内が可能